

平成17年度 活動実績

年月	活 動 計 画
4月	7日(木) 企画委(活動計画・収支予算・会則改正・役員名簿の原案作成) 15日(金) 理事会(同上) 21日(木) 広報委(支部だより年3回発行・盆おどり大会に福祉の店出店) 28日(木) 総会(役員・活動計画・収支予算・会則改正の承認)
5月	※日赤社員募集の推進 27日(金) 近隣ケア・グループ代表者研修会
6月	17日(金) 地域コミュニティ会議 24日(金) ※出前講座・介護予防教室(転倒予防体操・筋力アップ等)
7月	初 旬 那加三小老人へ暑中見舞い発送、那加中福祉ポスター依頼 22日(金) 小中学生車いすとアイマスク体験と座談会 25日(月) 親子ふれあいの会(映画会…金色のクジラ) 31日(日) 支部だよりNo.35発行
8月	※社協会員・会費募集の推進 10日(水) 企画・実行委(お年寄りを囲む食事会の準備) 13日(土) ※親子ふれあい盆おどり大会(八幡神社境内にて)
9月	4日(日) ※第24回各務原市福祉フェスティバル(市民会館にて) 8日(木) 理事会(前期の反省、後期の調整) 26日(月) 実行委と近ヶ谷代表者によるお年寄りを囲む食事会の打合せ会
10月	※共同募金運動の推進 2日(日) お年寄りを囲む食事会 16日(日) ※那加三小校区市民運動会とふれあいフェスティバル、チャリティーバザー(売上高¥195,136) 29日(土) ※那加三小教育ステーション・5年生車いすで街に出る
11月	3日(木) 子供とお年寄りが一緒にハイキング、芝生上でゲームと体操(学びの森公園) 8日(火) 広報委(支部だより編集と歳末福祉座談会について) 27日(日) ※第39回各務原市社会福祉大会(市民会館にて) 30日(水) 支部だよりNo.36発行
12月	初 旬 那加三小児童による老人への年賀状発送依頼 11日(日) 歳末福祉座談会(東亜町会館にて)
18年度 1月	14日(土) 寝たきり老人さんへの友愛訪問
2月	13日(月) 理事会、編集委、今期の反省
3月	15日(水) 支部だよりNo.37号発行 17日(金) 会計監査 22日(水) 4役会議 27日(月) 総会

※印は支部以外の団体主催行事です。

平成17年度 収支決算書(案)

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

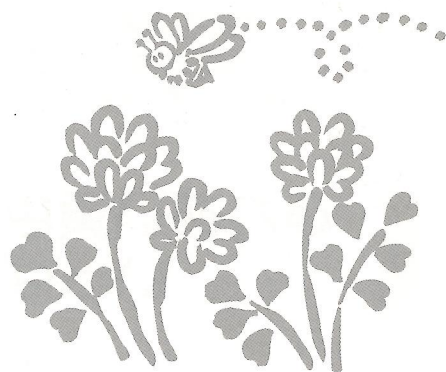
単位=円

収入の部				
科 目	本年度予算	収支済額	差 額	備 考
1 交 付 金	391,000	375,000	△16,000	会費納入額(9375千円)の40%還元
2 メニュー事業助成金	710,600	*644,750	△65,850	
1) 機関紙発行・支部だより	129,600	*189,000	59,400	助成金(1部30円×世帯数+100部)×3回
2) お年寄りを囲む会	90,000	90,000	0	〃 (1人500円×180人)
3) 福祉座談会	33,000	15,750	△17,250	〃 (1人200円×人数)=2回分
4) 高齢者健康づくり教室	10,000	10,000	0	〃 (講師料)
5) 親子ふれあいの会	16,000	16,000	0	〃 (映画フィルム借用料)
6) ボランティアハウス	432,000	324,000	△108,000	〃 (南栄、新那加、前河新町4)
3 特別事業助成金	50,000	58,844	8,844	〃 歳末福祉座談会
4 繰 越 金	713,812	713,812	0	
5 雑 収 入	5,090	5,087	△3	お礼金・5,000円、預金利息8.7円
合 計	1,870,502	*1,797,493	△73,009	

単位=円

支出の部				
科 目	本年度予算	支出済額	差 額	単位=円
1 事 務 費	30,000	*32,580	△2,580	事務用品、写真代、コピー代、監査費
2 共通実施事業	297,000	*256,136	40,864	
1) 福祉教育事業	60,000	57,500	△2,500	暑中見舞年賀状942枚購入(小学生)、福祉ポスター・賞状・賞品代(中学生)
2) 友愛訪問事業	87,000	60,577	26,423	寝たきり老人見舞い品・介護者慰問品
3) 支部育成事業	150,000	*138,059	11,941	総会・役員会・委員会・編集委員会
3 メニュー事業	899,700	*784,159	115,541	
1) お年寄りを囲む会	180,000	175,729	4,271	お土産代・弁当代、食料代等
2) 親子ふれあいの会	43,000	37,395	5,605	フィルム借用料・ジュース代
3) 福祉座談会	65,000	29,155	35,845	近隣ケアグループ代表との座談会、小・中学生との座談会
4) 機関紙発行・支部だより	161,700	*189,000	△27,300	35号、36号、37号発行(各2,200部)
5) 高齢者健康づくり教室	18,000	28,880	△10,880	講師お礼金、参加者お菓子ジュース代
6) ボランティアハウス	432,000	324,000	108,000	南栄町、新那加町、前河新町4=助成金
4 歳末たすけあい・特別事業	50,000	63,250	△13,250	歳末福祉座談会
5 その他の事業	35,000	14,600	20,400	
1) 啓発事業	25,000	6,000	19,000	福祉の店出店、八幡神社盆踊り会場
2) ふれあい事業	5,000	3,600	1,400	介護教室・参加者ジュース代
3) 生活環境づくり事業	5,000	5,000	0	シニアクラブ・追悼法要(ご仏前)
(支 出 額 計)	1,311,700	*1,150,725	160,975	
6 予 備 費	558,802	*646,768	△87,966	(次年度繰越金¥646,768)
合 計	1,870,502	*1,797,493	△73,009	

*印は予想額です。



社 協 那加三支部だより

平成18年3月15日 No.37

編集・発行

各務原市
社会福祉協議会
那加三支部

那加三小学校

年末には、校区の寝たきりやひとり暮らしのお年寄りさんに、みんなで手分けして年賀状を送りました。

12/13 6年1組の年賀状書き風景です。



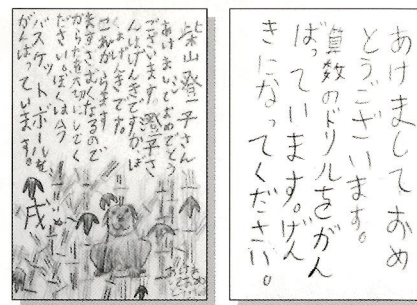
先生もいっしょに
考えて下さる

私は何を
書くのかな?
スポーツ!
算数!



おじいちゃん
元気で頑張ってるね。

他のクラスの
子からも、
見せて
もらいました。



学 校 訪 問

那 加 中 学 校

◎総合的な学習において「福祉・共生」のコースの活動。

テーマ「多様な生き方について考える」

2つの活動

①調査活動

②体験活動

を軸に活動をしてきました

《調査活動》

多様な生き方をする人達の立場に立って、校区内でUD(ユニバーサルデザイン)を見つけに調査してきました。結果、街はバリアフリー化をしながらUDを取り入れていこうとする段階であることが分かりました。

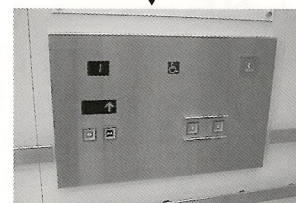
【感想】

私たちが、普段気づかなかったバリアフリーを見つけることができました。

意外と街の中は工夫がたくさんしてありました。

UDは、誰にでも使いやすく、もっと増やしていきたいので、たくさんの人に広めていきたいと思いました。

エレベーターのスイッチ



シャンプーだと分かるギザギザ

《体験活動》

多様な生き方を知るために、福祉施設や独居老人宅を訪問させていただいたり、ボランティアの方との触れあいを通し、どんな活動をするかを学ばせてもらいました。

【感想】

私は、いろいろな活動を通して生きがいや不便に感じてみえることを知ることができました。



12/11 年末福祉座談会

東亜町会館にて 参加者112名

歳末助け合いの一環として、独り暮らしのお年寄り、高齢者夫婦、寝たきりお年寄りの介護者など、地域の中で何らかの援助を必要とする人達と社協役員や民生・児童委員、近隣ケアグループ代表の皆様が話し合いの場をもち、交流を深めることにより、地域福祉のまちづくりを進めるために実施しております。

今年は、会場の都合で、東亜町会館にて、合同で行ないました。

- ①社協、若尾さんから
・地域福祉権利擁護事業について
(介護予防事業として
筋力アップトレーニング、送迎福祉カーの貸出し…利用したい時は、社協の窓口へ)

- ②高齢福祉課補佐、松原さんから
・高齢者を支援する福祉
a.高齢者等生活支援事業 b.在宅介護家族支援事業
・大きく変わる保健法制度
a.予防の介護に重点をおく(自助努力が必要)



10/29 那加三教育ステーションにて 5年生の「車いすで町に出よう」体験の感想の一部です。

今後の課題として、いろいろのところで話し合ってください。ご感想ありがとうございました。

—— 5年生の皆さんから ——

—— 車いすの運転は、みんな大体うまくできたようです ——

- ◎坂道、踏切などは、ガタガタしたり、傾いたり、段差があったり、大変苦労し、恐かった。
また、自転車や車などとのすれちがい、追い越しなど、こんなに怖いとは思わなかった。
◎雨の日だったので、濡れていて、すべったり、傾いたり、大変でした。
◎階段(新那加駅、八幡様等)には、大変苦労した。
◎介護のとき、後ろ向き運転や前輪持ち上げ、相手への声かけなどよい経験でした。
〈今日の学習で、この町は、車いすの人のために、「こうした方がよい」など考えていなかったようだったと思った。これからは、体の不自由な人の事をもっと考えてほしい。〉

—— 親さんから ——

- ◎子供と一緒に体験できてよかった。車いすの人の気持ちや大変さも分かって、この体験をきっと子供と共に、忘れないようにしたい。こういう行事は、続行してほしい。
◎車の人の運転マナーの悪さにおどろき、とても気になった。
◎町は、まだまだ障害のある人に優しくない。不都合がいっぱいある。車いすの方などは、きっと生活の中で、ずいぶん沢山のことを、あきらめてみえるのではないのでしょうか! どんな時でも、思いやりの心を忘れないで、相手の気持ちになって考えることを忘れてはいけなく改めて感じ入りました。子供たちも、感じてくれたら、うれしいです!
◎ひとにやさしいまち作りは、永遠のテーマでしょうか?
◎この体験から、街で手を貸して上げられるように、私たち大人も、子供たちもなっしてほしい!
◎お父さんの参加を、もっと呼びかけてほしい。

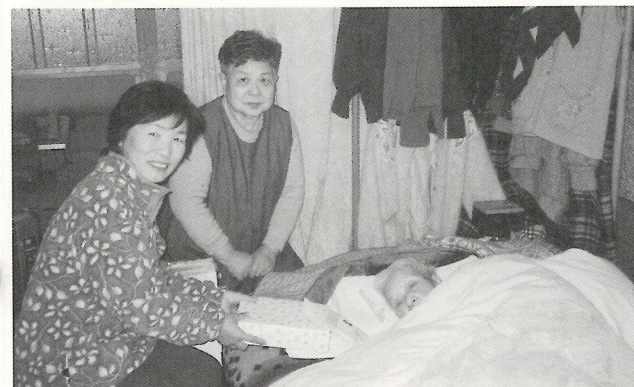


平成18・1・14

民生委員による寝たきり老人とその介護者への友愛訪問

那加三校区には、現在16名の寝たきりのお年寄りさんが、家庭の中で、家族の方の手厚い介護を受けておられます。

支部では、毎年、この時期に、民生委員さんにお菓子や果物券、ティッシュペーパーなどを持って、お見舞いして、頂いております。



寝たきりのお婆さん(領木さん・96歳)でしたが、とても、お元気でした。「ありがとう、ありがとう」と手を握りかえてみえました。



訪問に出発まえの民生委員さん方。
ご苦労さまです!
よろしくお願いします。

平成17・12・9

那加三小校下 通学路見守り隊 ふれあい交流会



各務原市青少年育成市民会議では、昨年度から、小中学生の下校時を中心に、通学路を散策しながら、小中学生に声をかけたり、一緒に下校したりすることで、子どもたちとの「ふれあい」を深めると共に、子どもたちを不審者から守っていく「地域の子は、地域で守る」運動を実施しています。

那加三小校下27町内では、見守り隊員133名の皆さんが、子供さんの登・下校時に、地域ごとに、見守りに出て下さっています。

本日は、隊員が、一堂に会して「日頃の感想や意見交換」をしました。また、別れて、子供さんの通学班会議に参席し、お話しもしました。3時半には、校庭に集合し、夫々連れだって、帰宅につきました。とても、賑やかでした。

ふれあい黄色い花が
いっぱい咲くように。

